



東京都公立大学法人（現 公立大学法人首都大学東京） 正規職員採用説明会

－ 先輩職員の声 －






本プログラムの趣旨

採用説明会では、入職1年目～8年目の先輩職員4名が、業務内容や職場の雰囲気などについて紹介するパネルディスカッションを行う予定でした。

説明会の開催中止に伴い、ここでは代わりに先輩職員4名へインタビューした内容を御紹介します。実際に法人で働く職員の率直な声から、仕事や職場のイメージをつかんでいただければ幸いです。



目次

1 先輩職員の紹介

2 インタビュー

-自身の就職活動について-

-業務内容について-

-職場の雰囲気について-

-研修・自己啓発支援制度について-

-皆さんへのメッセージ-

3 おわりに

※登場する人物の所属名称は取材時のものです。



私が聞きました！

氏名：N・A

入職：平成24年度（8年目）

現所属：総務部総務課人材育成係（正規職員採用担当）

1 先輩職員の紹介

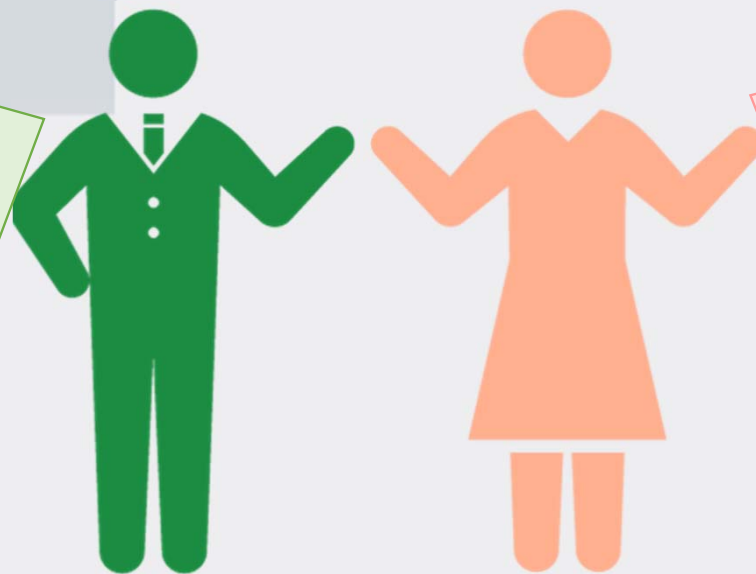
K・Jさん (男性)

入 職：平成24年度 (8年目)

現所属：首都大学東京管理部
企画広報課企画・評価係

経歴：

大学卒業後、法人に入職。
東京都立産業技術高等専門学校
荒川キャンパスに配属。
その後、東京都に2年間派遣。
2年前に現在の課へ異動。
文部科学省への届出等を担当。



K・Mさん (女性)

入 職：平成29年度 (3年目)

現所属：首都大学東京管理部
研究推進課研究推進係

経歴：

大学院卒業後、一般企業に就職。
法人に転職後、産学公連携
センターに配属。組織再編を経て、
所属名称が変更されたものの、
一貫して研究支援業務を担当。

1 先輩職員の紹介

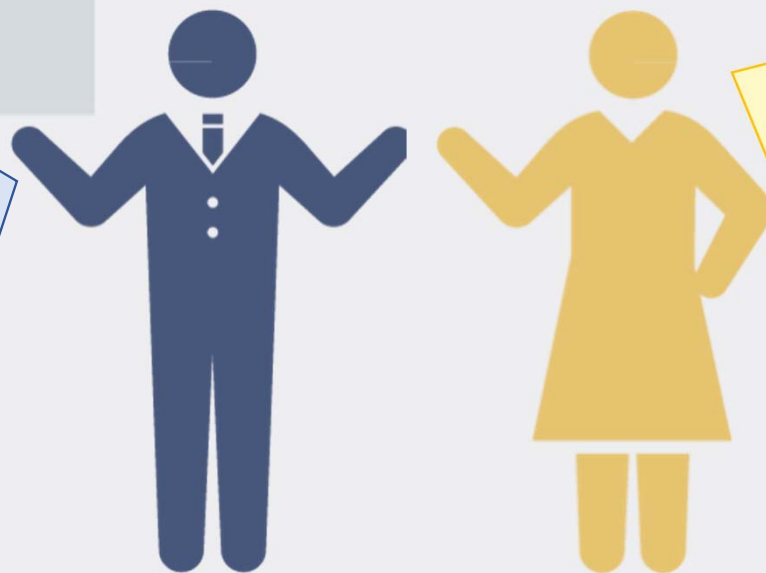
S・Yさん (男性)

入 職：平成24年度 (8年目)

現所属：首都大学東京管理部
国際課留学生交流係

経歴：

大学卒業後、一般企業に就職。
法人に転職後、首都大学東京
理系学務課に配属。
その後、法人部門である
経営企画室企画財務課に異動。
2年前に現在の課へ異動。
留学生受入業務等を担当。



T・Hさん (女性)

入 職：平成31年度 (1年目)

現所属：日野キャンパス管理部
学務課教務係

経歴：

大学卒業後、法人に入職。
首都大学東京 日野キャンパス
にて学生支援業務を担当。

2 インタビュー -自身の就職活動について-



皆さんの就職活動について、教えてください。
なぜ大学業界、そして当法人を志望したのでしょうか？

就職活動時は幅広い業界を検討していました。その中でも大学職員は、**教育に興味があったこと**と、大学生の時に職員とのかかわりが深かったことから、志望度が高かったです。当法人を選んだのは、**2大学1高専という大きなフィールドを持っていること**、出身大学よりも規模が大きかったこと、選考過程で出会う人達の人柄が良かったことが決め手でした。



Tさん
(1年目)

Kさん
(8年目)



学生時代に教職課程を履修していたものの、教育実習を通じて自分は教師には向いていないかも…と感じました。そこで、**教員とは異なる立場から教育に携われないか**と、教育業界を中心に就職活動を行いました。複数の大学を受けた中でも、**高校生の時に首都大を受験**しており思い入れがあったので当法人を選択しました。

研究をサポートする仕事がしくて、前職は製薬会社の営業をしていました。しかし、**もっと研究に近い仕事をしたい**と思い、地方公務員として中小企業の活性化に取り組むか、大学で研究支援をしようと考えて転職活動を始めました。自身が卒業生ということ、**就職セミナーや試験を受ける中で一番落ち着いて話すことができた**ので、最終的に当法人への入職を決めました。



Kさん
(3年目)

Sさん
(8年目)



もともと漠然と**大学という場所が好き**で、大学で働いてみたいと思って転職活動をしていました。当法人の面接官の職員は若くてハキハキしており、仕事に対して前向きな点が印象的でした。大学職員というと硬いイメージがありましたが、明るい人が多く、こういう人たちと一緒に仕事をしたいと思えたことが決め手となりました。

2 インタビュー -業務内容について-



現在の担当業務について、具体的に教えてください。

首都大学東京管理部国際課留学生交流係での業務は主に2つあります。

1つ目は**受入留学生を増やすための施策の検討と実行**です。中期計画（当法人の6年間の取組計画）の中で、「首都大の外国人留学生を900人にする」という目標を立てており、実現へ向けて、方策を考え実行しています。具体的には、海外の大学を訪問したり、留学フェアに出展したり、SNSを使ってアピールしたり、様々なプロモーション活動を行っています。そのため、年に3回ほど**海外出張**にも行きます。また、奨学金支給や宿舍運営等、受け入れた外国人留学生に対する支援も行っています。

2つ目は日本人学生の海外派遣です。本学の学生が安心して海外留学に挑戦できるよう、海外の交換留学協定校と調整をしたり、**海外留学のための手続のサポート**をしています。国際課の業務ではもちろん英語を使うことがありますが、英文の作成等は専門スタッフがサポートしてくれます。**英語が苦手でも、海外志向があれば活躍できる職場**だと思います。

Sさん
(8年目)



首都大学東京管理部企画広報課企画・評価係は、首都大が行った取組が良かったのかどうか、目標を達成できているかどうか等を自ら検証する、「**自己点検・評価**」という業務を担当しています。ほかにも、東京都の評価を受けたり、文部科学省へ届出を行う仕事も担当しています。学生との接点はありませんが、裏方として**大学全体の動向を把握する力が必要**です。

また、去年は企画広報課に異動した直後に、「**TMU Vision 2030**」の**策定を担当**しました。2030年にこうなりたい、という首都大の姿について、教員、学生、職員から意見を聞いたり、大学執行部と打合せを重ねました。それぞれの立場によって意見が異なるので、どのような立場の人が見ても納得するものになるよう調整するのは大変でしたが、**大学の今後の方向性を考える貴重な機会**となりました。

Kさん
(8年目)



2 インタビュー -業務内容について-

入職当初は産学公連携センター調整係に配属され、2年目には事務組織の再編に伴い、**研究推進課研究推進係**へ異動しました。どちらも研究にかかわる部署ですが、産学公連携センターは2大学1高専を俯瞰して、法人としての社会貢献や社会との連携を考える部署で、研究推進課は**教員の研究の「種」をどう発芽させるか**を、URA（リサーチ・アドミニストレーター）という専門職と協力して考える部署です。

産学公連携センターでは、ある学部**の共同研究に関わる契約事務と、科学研究費助成金の機関統括業務**を担当しました。また、研究推進課では、**学内研究費に関する公募の企画と運営、研究に係る戦略立案**、研究に係る委員会の運営などを担当しています。入職前はルーチン・ワークが多いのではないかと想像していましたが、実際は、業務の幅が広い上に**企画・立案業務が多く、やりがい**を感じています。



Kさん
(3年目)

日野キャンパス管理部学務課教務係で、日野キャンパスに通う学生の**経済支援（奨学金・授業料減免）**や、**クラブ・サークルなどの窓口**を担当しています。**学生生活全般に関わる仕事**であるため、学生と接する機会が多くあります。入職直後は、奨学金や授業料減免について知識が少ない中で、学生からの質問対応に苦労しましたが、徐々に知識を身に付け、今では一人で対応しています。

日野は南大沢に比べて小規模なキャンパスですので、少数の職員で様々な業務を担当しています。例えば、私が所属する教務係の中にも、教務担当以外に学生支援担当、留学支援担当などがいます。南大沢キャンパスでは、それぞれ教務課、学生課、国際課が担っている仕事を、日野キャンパスでは1つの係で対応するので、**幅広い業務を経験**することができます。

Tさん
(1年目)



2 インタビュー -業務内容について-



高専や法人部門の業務についても教えてください。

私は入職して最初の配属先が、**東京都立産業技術高等専門学校管理部荒川キャンパス管理課会計係**でした。**予算執行や契約事務**など、会計に関わる仕事は一通り経験しました。また、グラウンドを人工芝に改修する工事を担当しました。工事期間中はグラウンドを使えなくなるので、教員、近隣住民、区など、学内外との調整は大変でしたが、完成したグラウンドを見たときには感動しました。



Kさん
(8年目)



Sさん
(8年目)

私は国際課の前は、**経営企画室企画財務課企画財務係**（現 財務係）に所属していました。企画財務課は、大学や高専とは異なり、法人の統括機能を担う部署です。その中でも、**法人の予算を東京都に要求**する仕事を担当していました。勤務地は新宿で、都庁の近くに事務所があります。**法人全体の動きを俯瞰しながら、東京都との連携を図る**ことを期待されていました。

2 インタビュー -職場の雰囲気について-



職場はどのような雰囲気ですか？

入職1年目の職員には、**チューターという指導役の先輩職員が付く**ので、いつでも相談できて不安なく働くことができます。新人の意見もしっかり聞いてもらえますし、同じ事務室に同期がいて、近くで**切磋琢磨しながら成長できる環境**という点も嬉しいです。



Tさん
(1年目)



Sさん
(8年目)

これまで3つの部署を経験しましたが、皆さん優しくて、**上司もよく相談に乗ってくれます**。残業の多寡は部署や時期によって異なりますが、総じて**休暇が取りやすい職場**だと思います。**仕事とプライベートを両立できる環境**です。

法人には**1時間単位で休暇を取得できる**制度があり、とても便利です。



Kさん
(8年目)

休暇を取得する文化が根付いているので、最低限の周囲への配慮は大事ですが、お互いに**プライベートも尊重**しています。



Kさん
(3年目)

2 インタビュー -研修・自己啓発支援制度について-



研修制度や自己啓発に対する支援制度は充実していますか？

Kさん
(8年目)



私は派遣研修として、**東京都の職務に2年間**従事しました。派遣研修先はほかに、文部科学省もあります。他機関での勤務を通じて、**新しい知識や業務手法を学ぶ**ことができましたので、その経験を法人の業務においても活かしていきたいです。

私は、**北米の大学にて8週間の英語プログラムを受講**しました。職場としては2か月も穴が開くのは大変だったと思いますが、「行っておいで」と背中を押してくれました。法人内の**研修は充実**していますし、学外の研修にも参加できる環境が整っています。

Sさん
(8年目)



Kさん
(3年目)



私は法人の研修制度を利用して、**英語の語学学校に通学**しました。ネイティブの講師によるマンツーマンレッスンを約30レッスン受講しました。勤務時間終了後に通っていましたが、職場の人は忙しい時期でも早く送り出してくれてありがたかったです。また、資格取得の支援も充実しています。**指定の資格に合格すると受験料が補助**されるので、モチベーションに繋がりました。

2 インタビュー - 皆さんへのメッセージ -



法人を志望する皆さんへ、メッセージをお願いします。

仕事内容が多様なので、**主体性を持って積極的に**仕事をする必要があります。入職後、多様な仕事を通じて自分が知らなかった一面を見つけることができますと思いますので、ぜひ法人へ応募をしてみてください。**2大学1高専をより魅力ある大学・学校にしたいと思ってくれる方**と、一緒に働けたら嬉しいです！



Kさん
(3年目)

Tさん
(1年目)



この「先輩職員の声」を通じて、法人職員が**様々な仕事を担っている**ことを知っていただければ幸いです。当法人は、都立であること、2大学1高専を運営していることが大きな特長で、自分自身も成長できる職場です。その**魅力に共感していただける方**と、一緒に働きたいです！

基本的には、様々なルールの中で動いている組織です。その中で何ができるか、どこまで臨機応変に対応できるかを**考えることが求められます**。入職後、希望とは異なる仕事を担当することもあります。3年程度の周期で異動があるので、色々な経験を積んで、それを次の仕事に活かせる点が良いところです。**ジョブローテーションを経て成長したい方**にお勧めの職場です！



Kさん
(8年目)

Sさん
(8年目)



今後、大学間競争が激化する中で、当法人が最先端の教育研究を維持していくためには、常に**教職員が協力して**新しい事業を立ち上げたり、課題解決に向き合っていく必要があります。決して楽しい仕事ばかりではないかもしれませんが、やりがいのある仕事です。**仲間との協調を大切に、明るく前向きに仕事に取り組むことのできる方**をお待ちしています！

3 おわりに –採用担当からのメッセージ–

最後まで御覧いただき、ありがとうございました。
この「先輩職員の声」が、
皆さまの進路選択の一助となれば幸いです。

当法人職員の平均年齢は36.5歳と若く、活気のある職場です。
気概と誇りを持って、法人とともに成長したいと思ったださる
皆さまの御応募をお待ちしております。

選考の機会に皆さまとお会いできますことを、
採用担当一同、心より楽しみにしております。